

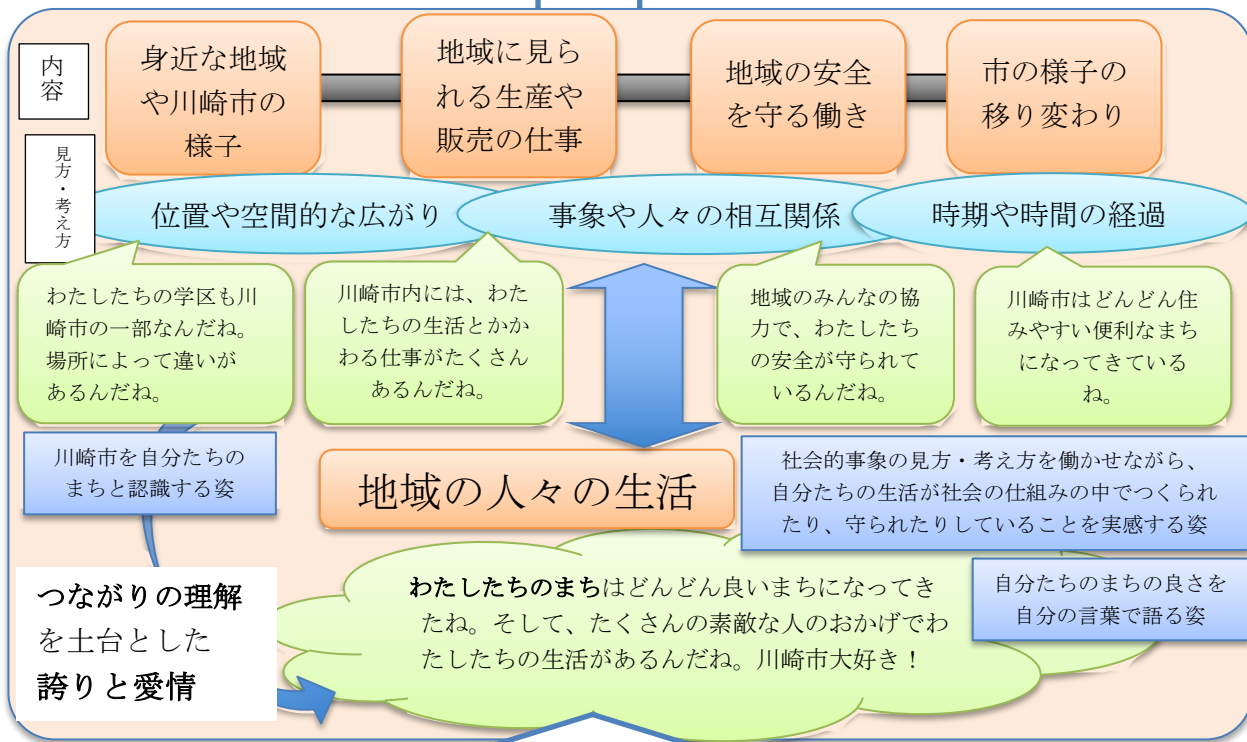
第24回 神奈川県小学校教育研究会社会科部会「川崎大会」 川崎市立小学校社会科教育研究会3年部会提案

◎川崎市立小学校社会科教育研究会 研究主題

ともに生きる未来を創造し、よりよい社会の在り方を問い続ける社会科学習

◎3年部会の目指す子どもの姿

「地域社会とのつながりを理解し、川崎市への誇りと愛情を育む子」



◎川崎市小学校社会科教育研究会の研究の重点

深い学びの実現に向けた 一人一人が生きる社会科学習

○3年部会が考える研究の重点における具体の姿とは？

「自らの学習を調整し、概念的知識を獲得・活用していく姿」

であるとする。

「自らの学習を調整」

…問題を見出し、見通しをもちながら仲間と共に問題解決的な学習を進める姿

「概念的知識を獲得・活用」

…問題解決的な学習を通じて、「社会的事象の見方・考え方」を働かせ、自分の言葉で解を語れる姿

⇒このような姿に迫るために、研究の視点を2つ設定した。

◎3年部会の研究の視点

視点①「追究意欲が生まれる学習過程」

⇒一人一人の追究や考察に耐えうる「問い」を設定すると共に必要に応じて単元構想を修正することで「社会的事象の見方・考え方」を働かせながら、概念的知識の獲得・活用をして、資質・能力の育成をしていけるのではないかな。

視点②「一人一人が学習を調整するための指導と評価」

⇒「問い」に対して、具体的な「見通し（予想・考え・意思）」をもとに、「実行（調査・関連付け）」「省察（まとめ・振り返り）」ができるように、丁寧な見取りをして、教師が意図的にかかわっていくことで、多様な他者と協働したり自らの学習を調整したりする良さを感じながら、資質能力の育成をしていけるのではないかな。

<本単元における研究の視点のイメージ図>

